

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 16号)

2026年3月10日発行

兵庫のみ研究所

海域全般にスケルトネマやキートセロス等、多種の珪藻類が確認され、二見漁場西部以西でやや多いですが、全般には珪藻の発生量は少ない状況です。窒素は、下げ潮～干潮での調査であったことから、海域地先では陸水の影響が強くと見られ、概ね4～10 $\mu\text{g at/L}$ 台、別府沖以東の海域沖筋で1～3 $\mu\text{g at/L}$ 台、高砂漁場以西で1 $\mu\text{g at/L}$ 以下の値となっています。

(水温) 漁場内平均9.8℃ (平年比0.2℃、昨年比0.8℃ともに高い)。(塩分) 平均32.74psu。前回 (32.78) より0.04psu低い。

(珪藻、栄養塩)

スケルトネマやキートセロスに加え、レプトシリンドラス・ギナルディア等、多種の珪藻類が海域西部を中心にやや多く確認されるが、全般には珪藻の発生量は少なく、ユーカンピアもほとんど確認されなかった。

海域地先(八木鋼管漁場～加古川)では、陸水の影響が強くと見られ、アンモニア態窒素の値が高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	9.8	9.8	9.6	9.0
窒素	3.0	4.1	3.6	4.8
リン	0.36	0.37	0.36	0.43

(3/4)

※窒素の平均は⑥別府を除く。

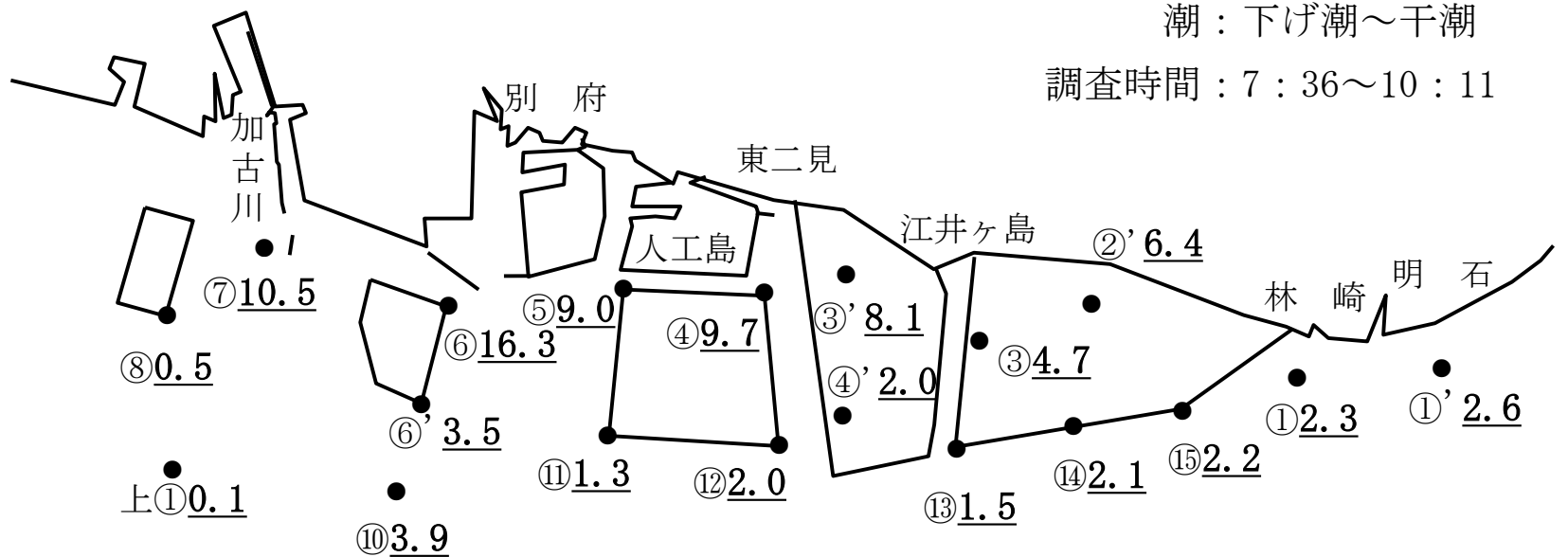
(3/11)

2026年3月10日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮：下げ潮～干潮

調査時間：7：36～10：11



水温図

